



YASKAWA

株主のみなさまへ

第89回 事業報告書

平成16年3月21日 ▶ 平成17年3月20日

機械と人間の共生へ—Quality & Beauty
株式会社 安川電機

株主のみなさまへ

株主のみなさまには、ますますご清栄のこととご拝察申し上げます。

当社および子会社、関連会社を含む当グループの当期の業績について、概要をご報告申し上げます。

当期における経済情勢は、前半は、堅調な欧米、アジア経済を背景とした輸出の増加、企業収益の回復を受けた設備投資の増勢や雇用状況の改善、個人消費の持ち直しにより、景気回復傾向をより強めてまいりましたが、後半は、原油や鋼材などの原材料価格の高騰や円高・ドル安基調の長期化、また半導体分野で在庫調整の動きが見られるなど、景気の減速感が出てまいりました。

当グループが注力している市場のうち、自動車関連市場は安定的かつ堅調に推移し、半導体・液晶関連市場は上期まで拡大基調であり、地域別には中国をはじめアジア市場が高成長を持續、欧米市場向けも堅調に推移いたしました。

このような環境の下、当グループは、高収益企業への転換を図るべく、平成17年度(2005年度)を最終年度とする中期経営計画“Win21 プラス”を積極的に推進し、事業、企業、経営および財務の4つの構造改革を中心に、事業の競争力強化および効率的な事業運営の実現を目指してまいりました。

当期は、市場戦略とイノベーションにより、高付加価値化および事業拡大を図る年と位置付け、諸施策を展開いたしました。

具体的には、産業用ロボット、ACサーボ・コントローラ、インバータなど高い市場シェアをもち競争力のある中核製品

を自動車関連、半導体・液晶関連、空調・エレベータといった得意分野へ集中的に拡販し、受注の拡大を図るとともに、各製品のコストダウンによる収益改善に努めてまいりました。さらに、コストダウンを図った新製品の早期投入・戦力化と利益率の高い市場・顧客への拡販による収益力向上に努めてまいりました。

この結果、売上高は前期比17.7%増の3,096億15百万円と大きく拡大し、損益面につきましても、価格競争の激化や資材価格高騰の影響を吸収し、営業利益は前期比41.3%増の175億27百万円、経常利益は前期比45.0%増の174億14百万円となり、売上高、営業利益、経常利益のいずれも過去最高の業績を記録いたしました。

しかしながら、当期純利益につきましては、米国の半導体システム製造子会社であるシナティクス ソリューションズ株式会社において、営業権の減損に伴う特別損失を計上したため、前期比68.0%減の18億60百万円となりました。

当社業績につきましても、売上高、経常利益とも過去最高となりましたが、シナティクス ソリューションズ株式会社の株式の評価減の特別損失の計上により、当期純損益では39億82百万円の損失となり、配当につきましては誠に遺憾ながら無配とさせていただきます。なにとぞご了承賜りますようお願い申し上げます。

今後の見通しにつきましては、国内では、昨年秋口より調整局面を迎えた半導体関連市場の回復時期に関する見方が分かれ、また、資材価格の上昇、円高・ドル安基調の継続など、先行き

不透明な状態は当面続くものと思われます。一方、海外では、欧州は景気減速傾向が続く見通しですが、米国および中国は前年並みに推移するものと思われます。

こうした中で、当グループの中期経営計画“Win21 プラス”は平成17年度(2005年度)に最終年度をむかえます。これまで実施してきた4つの構造改革をさらに進化させ、強固な経営基盤の確立に向けて、その成果を確実なものにしてまいります。

当期の売上高は、前期より大きく拡大し、“Win21 プラス”の目標値3,000億円に1年前倒しで到達いたしました。今後も引き続き、安定的な成長が見込まれる自動車関連市場向けや欧米・アジア市場への拡販に注力するとともに、高収益企業体質の完成に向けて、半導体・液晶関連市場の回復を確実に捉える等の方策を展開してまいります。

具体的には、引き続き高付加価値化を図るため、より利益率の高い市場・製品の重点的な拡販や、コストダウンを図った新製品への切替えを促進、構成比率を高めてまいります。

生産面では、当期下期に実施した設備の増強、生産管理の強化を生かし、安定的で強固な生産体制を構築してまいります。また、あわせて受注から納入までのリードタイムの短縮や海外における低コスト生産の拡大、調達費の削減等のコスト削減策を推進・強化し、収益力を持続的に高め、利益改善に努めてまいります。

事業拡大については、当グループの営業力、生産力、開発力の戦略のレベルアップを図るため、本社組織を本部制に再編

いたしました。この体制により、営業戦略と開発戦略の連携を強化し、マーケティング強化による市場攻略および戦略的新製品のタイムリーな投入を行ってまいります。

また、米国の半導体システム製造子会社であるシナティクスソリューションズ株式会社の業績改善に努めてまいります。

中期的な視野に立った施策としては、将来の競争力や成長性を確保するため、次世代の新たな中核技術の開発・育成を加速するとともに、品質および技術を核としたブランド価値を強化することで、高収益体質の実現を図ってまいります。

なお、法令遵守、リスク管理等の内部統制システムをさらに強化し、社内に関示委員会を設け、適時・適切な情報開示を行ってまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後ともなお一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成17年6月



取締役社長

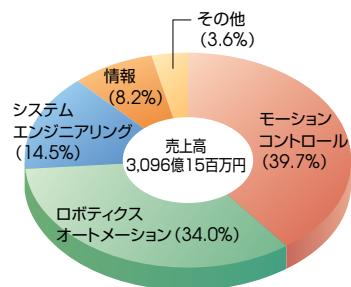
利島 康司

業績の推移

● 連結売上高



● 連結売上高の部門別比率 (平成16年度)



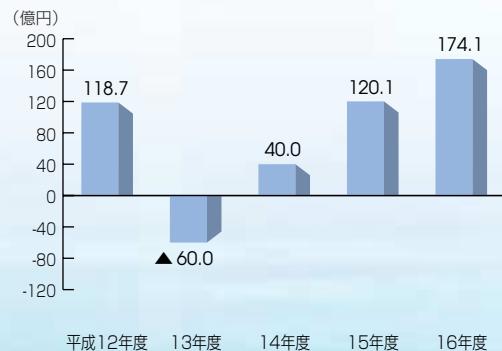
● 受注高 (単独)



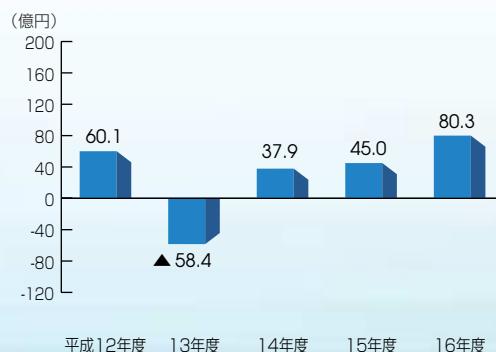
● 売上高 (単独)



● 経常利益 (連結)

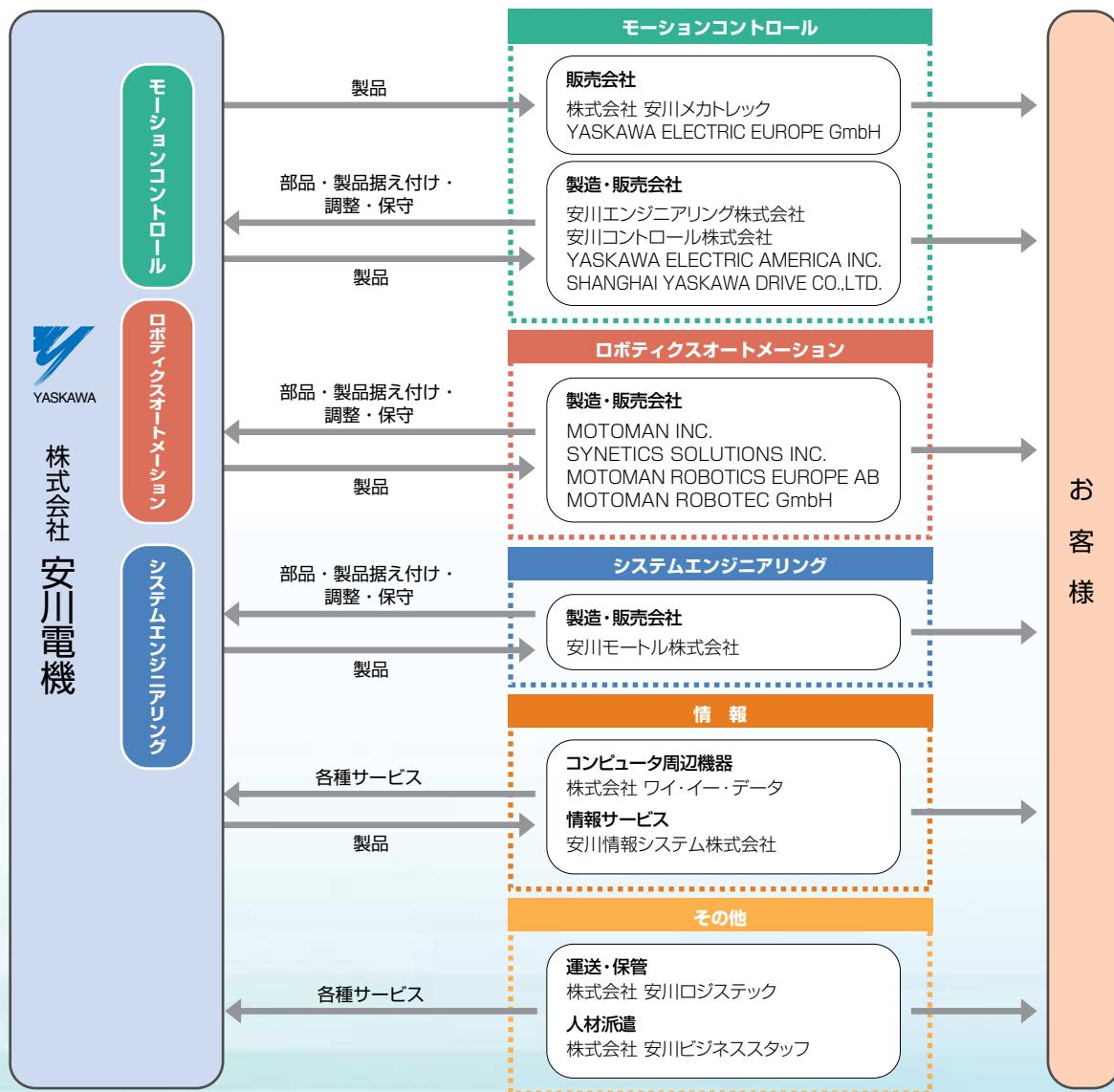


● 経常利益 (単独)



グループの状況

当グループは、当社を中核として子会社76社および関連会社24社（平成17年3月20日現在）により構成され、「モーションコントロール」「ロボティクスオートメーション」「システムエンジニアリング」「情報」「その他」の各部門の様々な分野において、製造、販売、据付、保守、エンジニアリングなどの事業展開を行っております。



(注) 上記の会社はすべて連結子会社であり、主要な会社のみ表示しています。
株式会社 ワイ・イー・データおよび安川情報システム株式会社の2社は東京証券取引所第2部に上場しています。

部門別の概況



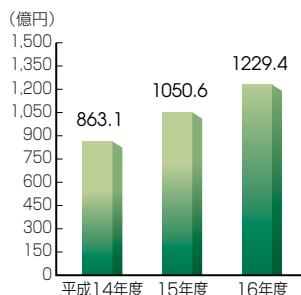
主要製品

ACサーボモータ・制御装置	高速モータ	プログラマブルコントローラ
汎用インバータ	小形精密モータ	マシンコントローラ
工作機械用AC主軸モータ・制御装置	複合モータ	NCシステム
リニアモータ・制御装置	省エネモータ・インバータ	ビジョンシステム
DCサーボモータ・制御装置	高周波インバータ	その他

当部門においては、ACサーボ・コントローラは、前期から当上期にかけて、堅調な工作機械・金属加工機向けに加え半導体・液晶関連向けの需要増加および新製品の積極的な拡販により、国内、北米、アジアの各地域において売上が拡大いたしました。昨年秋口以降、国内においては半導体・液晶関連の需要減速の影響を受けました。インバータは、とりわけ中国、アジア市場の空調・エレベータ向けに堅調を維持いたしました。

この結果、部門全体では、売上高は前期比17.0%増の1,229億44百万円、営業利益は前期比125.9%増の91億21百万円となりました。

売上高の推移



主要製品

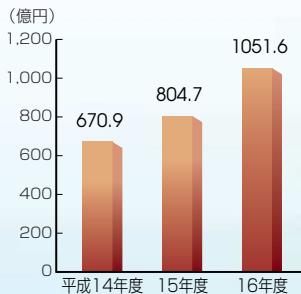
アーク溶接ロボット	特殊アクチュエータ
スポット溶接ロボット	クリーン・真空内搬送システム
塗装ロボット	ロボット応用FAシステム
ハンドリングロボット	医療・福祉サービスロボット
半導体・液晶製造装置用クリーン・真空ロボット	その他

当部門においては、自動車関連業界向けは、アーク溶接、スポット溶接などの用途別に最適化された新形ロボットや塗装ロボットが、大手自動車メーカーや部品メーカー向けに多く採用され、国内および欧米においてシェア拡大に寄与いたしました。また、液晶ガラス搬送用ロボットも、液晶テレビや携帯電話の需要拡大に加え、ガラス基板の大形化に対応した新機種のコストリーな投入により、特に韓国、台湾向けが好調で、大きな伸びを示しました。一方、半導体製造装置向けクリーン・真空ロボットにおいては、得意とする分野にさらに注力するとともに、既存顧客との共同開発推進、新規顧客の開拓を進めました。

また、受注の拡大を背景に生産設備を増強し、生産体制の一層の整備・強化を図りました。

この結果、部門全体では、売上高は前期比30.7%増の1,051億64百万円、営業利益は前期比38.3%増の72億82百万円となりました。

売上高の推移





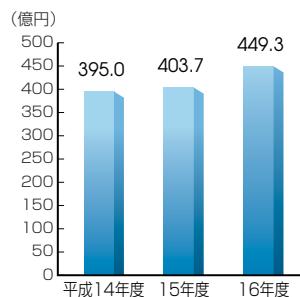
主要製品

鉄鋼プラント用電機システム	パワーメカトロシステム	高圧開閉装置	中大形誘導電動機
上下水道用電気計装システム	港湾荷役用クレーン制御システム	コントロールセンタ	中形発電機および発電装置
道路設備電源システム	紙・フィルム・液晶等可変速ドライブシステム	システム用制御盤	その他産業用回転機
環境プラント用電機システム	システム情報制御機器	電力用配電機器	その他
エレベータ制御システム	中容量高圧インバータ	永久磁石内蔵形回転機	

当部門においては、鉄鋼関連向けは、鋼材の好調な輸出増に対応する設備更新需要を取り込むとともに、高圧インバータ、コンプレッサシステム、エレベータ用電気品などの新システム機器の拡販に努めました。一方、上下水道用電気計装システムは、一層のコストダウンを図りましたが、公共投資の減少や競争激化の影響を大きく受けました。

この結果、部門全体では、売上高は前期比11.3%増の449億30百万円となりましたが、20億92百万円の営業損失となりました。

売上高の推移



主要製品

情報

- ・フロッピーディスクドライブ
- ・二次元コードマーキング・読取装置
- ・情報処理ソフトおよびサービス

その他

- ・OA機器
- ・物流サービス
- ・その他
- ・人材派遣
- ・その他

情報部門においては、情報サービス産業界において、緩やかながらも拡大基調にあったIT関連投資や情報家電向けの需要が、下期に入り一転して調整局面を迎え、市場競争が激化しました。コンピュータ周辺機器事業も厳しい市場競争が続きました。

この結果、部門全体では、売上高は前期比4.1%増の254億21百万円、営業利益は前期比28.0%増の15億円となりました。

その他の部門においては、売上高は前期比12.2%減の111億54百万円、営業利益は前期比62.4%増の17億39百万円となりました。

売上高の推移



新商品のご紹介

コントローラ

パネル一体形マシンコントローラ MP2500

MPシリーズは、性能の高さと使いやすさが好評で、国内シェア1位の実績をいただいております。「MP2500」は、タッチパネル機能を統合した新コンセプトの商品です。ソフトウェアパッケージ（安川情報システム（株）製）の活用で、タッチパネルの画面開発も非常に簡単にできます。充実したラインアップでさらなるシェアアップを図ってまいります。



パネル一体形
MP2500

MP2000
シリーズ



ボード形
MP2100



モジュール形
MP2200



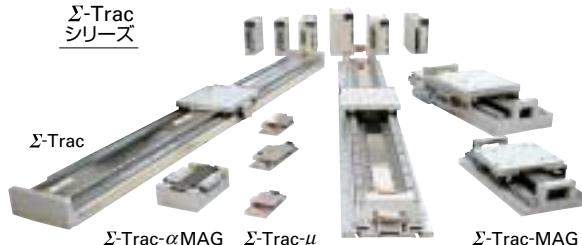
オールインワン形
MP2300

サーボ
ドライブ

リニアスライダ Σ -Trac-MAG、 Σ -Trac- α MAG

Σ -Tracシリーズは、リニアモータにリニアスケール、リニアガイドを取り付け、使いやすさを向上した製品です。2004年度にラインアップした Σ -Trac-MAGは、可動部の軽量化によって今まで以上に俊敏な動作を実現。 Σ -Trac- α MAGは更なる軽量化を図り、ポンダマシンやプレスフィーダのように過酷な駆動要求にお応えしています。今後もサーボ業界のリーダとして、お客様のご要望に沿った製品をご提供してまいります。

Σ -Trac
シリーズ



Σ -Trac

Σ -Trac- α MAG

Σ -Trac- μ

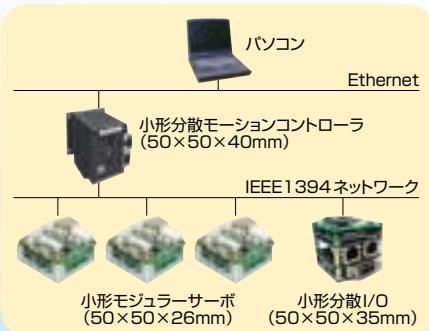
Σ -Trac-MAG

技術開発のご紹介

小形分散モーションコントロール技術の開発

一般産業機械やロボットの小形化への要求は、ますます高くなっています。このため、機械や装置に分散配置できるモーションコントロール（MC）技術、および高速ネットワーク技術の開発を強化しています。現在、この技術を搭載した小形コントローラ、小形分散I/Oを試作しており、新たなメカトロニクスの発展に寄与してまいります。

Ethernet：富士ゼロックス（株）の登録商標

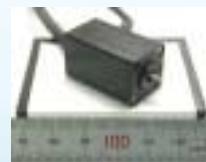


小形モジュラーサーボ
(50×50×26mm)

小形分散I/O
(50×50×35mm)

ナノテクノロジーを適用したサーボモータの開発

マイクロエマルジョン法（九州大学が有するナノテクノロジー）を利用したナノコンポジット磁石とこれを適用したサーボモータ*を試作し、2004年7月に開催された「福岡ナノテクNOW2004」（福岡県主催）に



出展しました。ナノテクノロジーを適用した具体的な事例として、先端技術に携わる研究者、技術者、官庁、企業関係者、理工学生などの注目を集めました。

*：経済産業省九州経済産業局委託による「平成13年度即効型地域新生コンソーシアム研究開発事業」の成果

クリーン・
真空機器

超精密 XY ステージ

半導体製造・検査装置の位置決め精度に対する要求が一段と厳しくなっています。超精密XYステージは、セラミック製工アスライダ、当社製リニアモータ、高分解能リニアスケールの採用により、ナノ(10億分の1)メートルレベルの優れた位置決め精度を達成しました。今後も高精度化へ向けて、さらなる改善を続けてまいります。



クリーン・
真空機器

半導体ウエハ搬送ロボット MOTOMAN-RC1000G

パソコンや携帯電話、家電製品などに使用されている半導体は、現代社会になくはならないものとなっており、半導体製造装置の生産性向上が求められています。MOTOMAN-RC1000Gは、発塵原因の一つである走行機構が不要で、アームを伸ばしたときの距離(動作範囲)を大幅に拡大。さらにアーム先端に二つのハンドを装備して使い分けができるため、非常に高い搬送効率を実現します。



医療機器

ベッドサイド型下肢運動療法装置 TEM LX2 TypeD

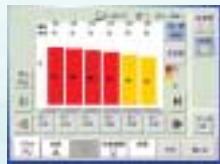
病院や家庭で、安心して下肢のリハビリテーションができる装置「TEM LX2」は、医療機関のご協力の下、機能・操作のレベルアップを図ってきました。TypeDは、簡単操作と安全面をより一層強化しました。



ベルトで下肢を保護し、膝に負担をかけずに正確な屈伸角度でリハビリができます。



画面をタッチするだけの簡単操作



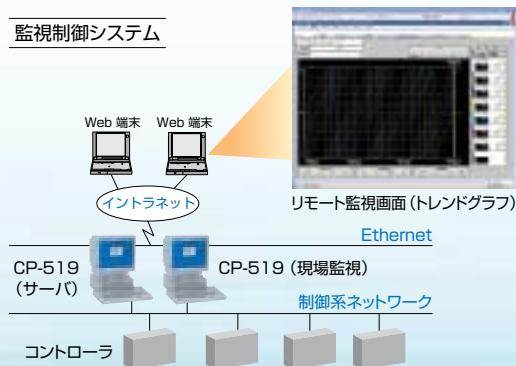
治療結果のグラフ表示

システム用
機器

イントラネット対応監視装置 CP-519

パソコンの普及率向上に伴い、製造現場の監視をWindows端末で行いたいという要求が高まってきています。CP-519は、構内事務所などの製造現場から離れた場所で、イントラネット上の端末からリモート操作・監視ができ、ご好評をいただいております。

監視制御システム



Windows : 米国 Microsoft Corp. の登録商標

情報関連

安川情報システム株式会社

次期プラットフォーム xP-5000

xP-5000は、PDA*に代表される携帯端末や据え置き型情報端末、TV電話などの製品開発に必要なデバイスを実装した、オリジナルCPUボードです。インテル(株)殿製アプリケーションプロセッサXScaleの中で最速・多機能なCPU「PXA270」を採用し、最新のMicrosoft社Windows CE 5.0を搭載しているため、お客様のアプリケーション開発期間と開発期コストを大幅に削減する効果を発揮します。この製品は、インテル(株)殿と契約を結び、他社に先駆けて開発に着手したからこそ、早期市場投入が実現した事例であり、今後もこのような取り組みを行うことによって、新規事業の拡大を推進してまいります。

*: PDA(Personal Digital Assistance)
= 持ち運ぶことのできる個人用の情報端末。
パソコン機能のうち、いくつかを実装しており、インターネットへの接続や無線LANによる高速通信が可能なものもある。



xP-5000

主な特長

- 高速演算によって、動画の高速処理を実現しました。
- 最大4メガピクセルの高画質なビデオキャプチャが可能です。
- 動作状況に応じたきめ細かな電力調整ができます。
- メモリースティックインタフェースを装備しています。
- ソフトウェアライブラリを実装しています。

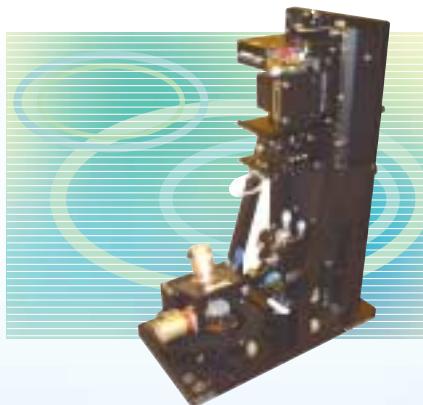
情報関連

株式会社 ワイ・イー・データ

VLD露光エンジン搭載の レーザーマーキングシステム

レーザーマーキングシステムは、昨今大きな成長を遂げている、液晶ディスプレイ、プラズマディスプレイをはじめとする平面ディスプレイ製造設備において、生産管理用コードのマーキングをご提供する製品です。

平成16年度は、新製品としてVLD(紫レーザーダイオード)使用の内製レーザーを光源とする高速・高性能の露光エンジンを搭載したレーザーマーキングシステムを市場投入しました。



TOPICS

1

MECHATROLINKメンバ80社突破

2004年5月、MECHATROLINK(メカトロリンク)普及のために発足したメンバーズクラブの1周年記念パーティを開催し、会員企業間で活発な情報交換を行っていただくことができました。2004年12月で、会員数が81社(日本61社、アジア9社、北米8社、欧州3社)となり、製品も続々とリリースされています。これからも世界のデファクトスタンダードを目指して邁進いたします。



MECHATROLINKはコントローラ、サーボ、インバータ、モータ、I/Oなどを接続し、モーションコントロールを高速・高精度に実現できる、当社提唱のオープンネットワークです。



「MECHATROLINKメンバーズクラブ」1周年記念パーティー

TOPICS

2

第52回電気科学技術奨励賞を受賞

世界トップクラスの省エネ運転を実現したインバータドライブ Varispeed F7Sに搭載された技術が認められ、第52回電気科学技術奨励賞(オーム技術賞)を受賞いたしました。同期電動機に速度検出器、磁極位置検出器および電圧検出器を取り付けなくても高効率運転ができるうえ、回転中(フリーラン状態)で起動できる磁極推定、速度推定技術(特許出願中)は、産業界に大きく貢献しています。



センサレスベクトル制御
スーパー省エネドライブ
Varispeed F7S



贈呈式

TOPICS

3

2004国際ウエルディングショーに出展

2004年7月にインテックス大阪で開催された「2004国際ウエルディングショー」において、ロボット技術の高さをご紹介しました。実演展示では、アークやスポット溶接はもちろんのこと、双腕ロボットを使用した自動溶接システム、半導体レーザーを採用した最新薄板接合システムなど、自動車部品を高速・高精度に溶接する多彩なご提案をいたしました。



新提案の
双腕ロボット



自動車ドアの
高速スポット溶接を実演

財務諸表 (連結) (平成17年3月20日現在)

● 連結貸借対照表

(単位：百万円)

資産の部		負債の部	
流動資産	175,505	流動負債	138,837
現金及び預金	17,976	支払手形及び買掛金	65,478
受取手形及び売掛金	91,128	短期借入金	39,067
有価証券	152	未払費用	15,423
たな卸資産	52,681	その他	18,867
繰延税金資産	5,689	固定負債	73,164
その他	8,646		
貸倒引当金	▲ 770	負債合計	212,002
固定資産	78,933	少数株主持分	
有形固定資産	37,459	少数株主持分	4,069
無形固定資産	9,328	資本の部	
繰延税金資産	11,488	資本金	15,541
投資その他の資産	20,994	資本剰余金	14,001
貸倒引当金	▲ 337	利益剰余金	7,291
		その他有価証券評価差額金	1,933
		為替換算調整勘定	▲ 115
		自己株式	▲ 286
		資本合計	38,366
資産合計	254,438	負債、少数株主持分及び資本合計	254,438

● 連結損益計算書

(単位：百万円)

自平成16年3月21日		至平成17年3月20日	
売上	高		309,615
営業費用			292,087
営業利益			17,527
営業外収益			1,433
営業外費用			1,546
経常利益			17,414
特別利益			2,861
特別損失			11,053
税金等調整前当期純利益			9,222
法人税、住民税及び事業税			8,968
法人税等調整額		▲	1,753
少数株主利益			147
当期純利益			1,860

● 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

自平成16年3月21日		至平成17年3月20日	
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前当期純利益			9,222
減価償却費			6,499
投資有価証券売却益		▲	1,029
売上債権の増減額		▲	6,859
たな卸資産の増減額			1,440
仕入債務の増減額			2,255
法人税等の支払額		▲	5,447
その他		▲	290
営業活動によるキャッシュ・フロー			5,789
投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産等の取得による支出		▲	6,889
有形固定資産等の売却による収入			2,775
投資有価証券等の取得による支出		▲	2,812
投資有価証券等の売却による収入			938
その他			3,744
投資活動によるキャッシュ・フロー			▲ 2,242
財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増減額		▲	1,901
長期借入による収入			5,391
長期借入金の返済による支出		▲	5,356
社債の発行による収入			14,903
社債償還による支出		▲	14,998
その他		▲	861
財務活動によるキャッシュ・フロー			▲ 2,823
現金及び現金同等物に係る換算差額			84
現金及び現金同等物の増加額			808
現金及び現金同等物の期首残高			17,098
現金及び現金同等物の期末残高			17,906

財務諸表 (単独) (平成17年3月20日現在)

● 単独貸借対照表

(単位：百万円)

資産の部		負債の部	
流動資産	108,179	流動負債	91,747
現金及び預金	8,862	支払手形	4,785
受取手形	8,266	買掛金	38,671
売掛金	52,174	短期借入金	26,812
有価証券	114	未払費用	8,731
たな卸資産	22,310	未払法人税等	3,735
繰延税金資産	2,349	その他	9,011
その他	14,137	固定負債	61,035
貸倒引当金	▲ 35	社債	10,000
		新株予約権付社債	15,000
固定資産	72,898	長期借入金	10,920
有形固定資産	26,688	退職給付引当金	24,309
無形固定資産	7,386	債務保証損失引当金	806
繰延税金資産	8,703	負債合計	152,783
投資その他の資産	34,028	資本の部	
貸倒引当金	▲ 3,907	資本金	15,541
		資本剰余金	14,001
		資本準備金	14,000
		自己株処分差益	1
		利益剰余金	▲ 2,989
		当期末処理損失	2,989
		その他有価証券評価差額金	1,834
		自己株式	▲ 94
		資本合計	28,294
資産合計	181,077	負債及び資本合計	181,077

● 単独損益計算書

(単位：百万円)

自平成16年3月21日 至平成17年3月20日	
経常損益の部	
営業損益の部	
売上高	191,381
売上原価	155,117
販売費及び一般管理費	32,486
営業利益	3,777
営業外損益の部	
営業外収益	5,506
受取利息及び配当金	4,125
雑収益	1,380
営業外費用	1,249
支払利息	707
雑損失	542
経常利益	8,033
特別損益の部	
特別利益	3,044
特別損失	12,753
税引前当期純損失	1,675
法人税、住民税及び事業税	3,969
法人税等調整額	▲ 1,662
当期純損失	3,982
前期繰越利益	993
当期末処理損失	2,989

● 損失処理

(単位：百万円)

平成17年3月期	
当期末処理損失	2,989
これをつぎのとおり処理します。	
資本準備金取崩額	2,989
次期繰越損失	-

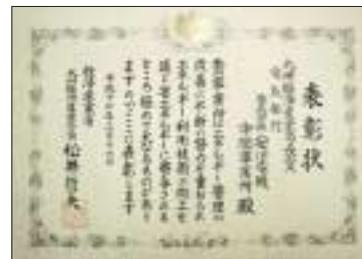
環境保護の取り組み

安川電機は、地球環境の保護が人類共通の重点課題の一つであることを認識し、環境に配慮した生産活動、環境に配慮した製品・システムの提供と環境マネジメントシステムを両輪に地球環境への負荷を最小限にすることを目指しています。ここでは2004年度のトピックスをご紹介します。(ホームページURL: <http://www.yaskawa.co.jp/>で取り組みを公開しています)



事業所の省エネルギー活動

八幡西事業所の子事業所である中間事業所(福岡県中間市)では、鋳物製造部門の溶解炉の電力量削減、およびコンプレッサの効率的運用などの省エネルギー活動が評価され、エネルギー管理優良工場として、九州経済産業局長賞を受賞いたしました。



環境対応製品「オンサイト・オゾン水処理装置」

下水処理水を有効活用するために、細菌の除去・脱臭・脱色に効果があるオゾン処理を省エネ・省スペース・省コストで実現できる「オンサイト・オゾン水処理装置」を商品化し、拡販中です。この装置に搭載した技術が高く評価され、九州電気協会電気関係業務従業員表彰(発明考案部門)を受けました。

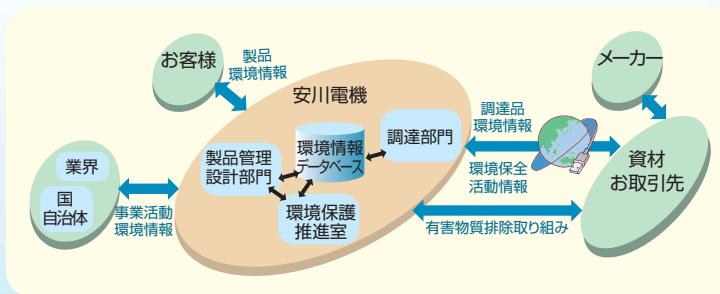


「オンサイト・オゾン水処理装置」
外観(イラスト)

製品の有害化学物質排除活動の強化

欧州を中心とした有害化学物質規制に対応するために、有害化学物質を含まない製品の開発に取り組んでいます。2004年度にお取引先の環境情報*を当社の調達・設計・環境推進部門と結んだ「化学物質情報管理システム」を構築しました。これによって、環境負荷物質の少ない調達品を優先的に採用するとともに、お客様へ環境に配慮した製品と情報を効率的に提供しています。

*:「調達品環境情報」および「お取引先の環境保全活動情報」



環境コミュニケーション

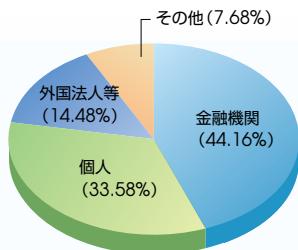
株式の状況 (平成17年3月20日現在)

会社が発行する株式の総数 …… 560,000 千株
 発行済株式総数 …… 232,061 千株
 株主数 …… 31,120 名

主要大株主

日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	15,200 千株	6.63%
みずほ信託退職給付信託みずほコーポレート銀行口 再信託受託者資産管理サービス信託	8,071 千株	3.52%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (中央三井信託銀行退職給付信託口)	7,970 千株	3.47%
明治安田生命保険相互会社	7,967 千株	3.47%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	6,941 千株	3.02%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (住友信託銀行再信託分・株式会社福岡銀行退職給付信託口)	6,375 千株	2.78%
日本生命保険相互会社	4,247 千株	1.85%
バンクオブニューヨーク・ロイヤリティ・リミテッド	3,903 千株	1.70%
株式会社西日本シティ銀行	3,432 千株	1.49%
第一生命保険相互会社	2,792 千株	1.21%

所有者別株式分布状況



当社株価の推移



役員 (平成17年6月16日現在)

取締役会長	中山 眞
取締役社長	利島 康司
専務取締役	濱田 淳一
常務取締役	松本 健一
常務取締役	武井 紘一
取締役	佐藤 光昭
取締役	鬼頭 正雄
取締役	沢 俊裕
取締役	岩田 定廣
取締役	宮原 範男
取締役	堀田 忠和
取締役	清水 喜文
取締役	宇佐見 昇
取締役	後藤 英樹
取締役	津田 純嗣
常任監査役(常勤)	中村 功
監査役(常勤)	山崎 宗重
監査役	谷 正明
監査役	多喜田 一郎



海外関連会社

EUROPE

- YASKAWA ELECTRIC EUROPE GmbH (ドイツ)
電気機器の輸入・製造・販売・サービス
- MOTOMAN ROBOTEC GmbH (ドイツ)
ロボットおよびロボットシステムの製造・販売・サービス
- MOTOMAN ROBOTICS EUROPE AB (スウェーデン)
ロボットおよびロボットシステムの製造・販売・サービス
- YASKAWA ELECTRIC UK LTD. (イギリス)
インバータの製造・販売・サービス
- YASKAWA ESHED TECHNOLOGY LTD. (イスラエル)
モーションコントロール製品の開発および製造

ASIA

- YASKAWA ELECTRIC (SINGAPORE) PTE. LTD. (シンガポール)
電気機器の輸入・販売・サービス
- YASKAWA ELECTRIC KOREA CORPORATION (韓国)
電気機器の輸入・販売・サービス
- SHANGHAI YASKAWA-TONGJI M & E CO.,LTD (中国)
電気機器の製造・販売・サービス
- YASKAWA ELECTRIC(SHANGHAI) CO., LTD. (中国)
電気機器の輸入・販売・サービス
- SHANGHAI YASKAWA DRIVE CO., LTD. (中国)
電気機器の製造・販売
- SHOUANG MOTOMAN ROBOT CO.,LTD. (中国)
ロボットおよびロボットシステムの製造・販売・サービス
- YASKAWA ELECTRIC TAIWAN CORPORATION (台湾)
電気機器の輸入・販売・サービス

North America & South America

- YASKAWA ELECTRIC AMERICA INC. (アメリカ)
電気機器の輸入・製造・販売・サービス
- MOTOMAN INC. (アメリカ)
ロボットおよびロボットシステムの製造・販売・サービス
- SYNETICS SOLUTIONS INC. (アメリカ)
半導体製造機器の開発・設計・製造・販売
- YASKAWA ELÉTRICO DO BRASIL COMÉRCIO LTDA. (ブラジル)
電気機器の輸入・製造・販売・サービス

株 主 メ モ

決 算 期	3月20日	名義書換代理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
定時株主総会	6月		
基 準 日	3月20日 そのほかあらかじめ 公告して定める日	同 事 務 連 絡 先 (郵便物送付先) (電話照会先)	東京都江東区佐賀一丁目17番7号 〒135-8722 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 電話(フリーダイヤル) 0120-288-324
公告掲載新聞	日本経済新聞	同 取 次 所	みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店
上場証券取引所	東京・福岡		

ホームページのご案内

下記の当社ホームページにて、決算情報やニュースリリースを随時ご提供いたしております。
<http://www.yaskawa.co.jp/>

株式の事務手続き(届出住所・印鑑・姓名等の変更、株券失効の申請、配当金振込指定、単元未満株式買取請求、単元未満株式買増請求、名義書換請求等)書類のご請求につきましては、上記名義書換代理人にてお電話ならびにインターネットにより受け付けておりますので、ご利用ください。

フリーダイヤル 0120-288-324 (証券代行部)

インターネット <http://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/>

なお、証券保管振替制度をご利用の株主様は、お取引口座のある証券会社にご照会ください。



株式会社 安川電機



- 古紙配合率100%再生紙を使用しています。
- 環境にやさしい植物性大豆油を使用しています。